

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和5年度採材現地検討会を開催しました。】

山形県農林大学校生徒による採材



各班の採材を参考に造材中



【10月13日（金）】令和5年度採材現地検討会を開催しました。事業繁忙期にもかかわらず生産事業者、県・市町村担当者、市場関係者や山形県林業大学校林業経営学部の生徒も参加し、総勢49名の規模となりました。

採材の検討は、3班に分かれ準備した5本の樹種や形状の異なる広葉樹を対象に実施したところです。採材の基本は曲がりや腐れ等の欠点を考慮し、こういった長さの丸太とするかの作業になります。スギ等の針葉樹は欠点を除いた真っ直ぐな丸太が取れるよう目指しますが、広葉樹に至っては、曲がりなどの欠点そのまま価値の低下に繋がるとは限らないところが、判断の難しいところとなります。

各班とも時間を目いっぱい使い5本の広葉樹について、価値が上がると考えた採材の印を付けていき、各班の採材検討終了後、班ごとに採材結果と考え方を発表してもらい、併せて市場関係者からの意見を頂きながら意見交換を行い、その後、実際に造材（チェーンソーで切断）を行い参加者全員で丸太の確認をしたところです。

終わりに最上支署長から講評あり、採材の考え一つで価値が上下することから「広葉樹はおもしろい」との言葉があり、今年度の採材現地検討会を終えたところです。

【「塩根川学校の森」森づくり体験活動に参加しました。】

木製プレート磨き作業に皆様夢中



みんな笑顔で記念撮影しました。



【10月15日（日）】遊々の森「塩根川学校の森」で甑山探究会が主催する森づくり体験活動に参加しました。

遊々の森とは、森林管理署と協定を結ぶことにより、様々な体験活動や学習活動を行うフィールドとして、国有林を継続的に利用できる制度です。

甑山探究会は、毎年地元の方々や児童を対象に森林環境教育等を行っていて、今年は関係者も含め45名（児童15名）が「塩根川学校の森」に集合しました。

今回の活動は植樹と食菌体験で、秋雨の天候だったものの参加者の皆様は、楽しみながら作業を行っていました。

その後、木工作のストラップ作成では、隣近所との会話を弾ませながらも、部品となる木製プレートを紙やすりで一心不乱に擦り、磨き上げていました。

最後は、参加者自作の手作りピザと芋煮汁を美味しく頂きました（大人でも1枚で腹一杯のピザをおかわりする強者の児童も）。児童からは「授業に無い体験が出来て良かった」、「会話しながらの作業が楽しい」との感想がありました。

山形森林管理署最上支署では、今後もこういった取組に積極的に参画してまいります。



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

